

ロンドンオリンピック 陸上女子10000m **第9位**

新谷 仁美

(山手地区出身、ユニバーサルエンターテインメント所属)

5000mは自己ベスト更新も予選2組10着



総社市出身の新谷仁美選手がロンドンオリンピック陸上女子1万mと5000mに出場しました。

陸上女子1万m決勝は8月4日に行われ、新谷仁美選手が自己ベストの30分59秒19（日本歴代3位）で9位になりました。序盤は先頭を走り、レースをけん引。終盤までトップグループについていきましたが9位でフィニッシュしました。

8月7日の陸上5000m予選では、2組に登場。15分10秒20で自己新記録を更新するも、その組で10位。惜しくも決勝進出を逃しました。

新谷選手は、「ご声援ありがとうございました。おかげさまで初出場でしたが、2種目とも自己新記録を出すことができました。また総社市の皆さまにお会いできることを楽しみにしています」とコメントしました。

◀1万m決勝の序盤、先頭を走る新谷選手【AFP時事】

▼山手公民館で行われた陸上女子1万m決勝の観覧イベント（パブリックビューイング）。約100人の観衆が集まり、ロンドンへエールを送った



銅

清水 聡

(昭和地区出身、自衛隊体育学校所属)

総社市初のメダリスト

ロンドン五輪ボクシングバンタム級 清水選手の戦績

2回戦	対 ルーク・キャンベル選手 (イギリス)	11-20で判定負け
1回戦	対 モハメド・ウーダヒ選手 (アルジェリア)	17-15で判定勝ち
2回戦	対 マゴメド・アブドゥルハミドフ選手 (アゼルバイジャン)	RSC (レフリーストップコンテスト) 勝ち
1回戦	対 アイザック・ドグボエ選手 (ガーナ)	10-9で判定勝ち

▲準決勝を終えた清水選手【自衛隊体育学校提供】

◀総合福祉センターで行われた観覧イベント（パブリックビューイング）。約150人が熱狂した



ロンドンオリンピックボクシングバンタム級に出場した総社市出身の清水聡選手。初戦から準々決勝まで、すべて逆転で勝利しメダル獲得を決めました。特に2回戦では一度判定負けという結果が出ましたが、判定を不服として提訴。それが認められ判定が覆り、逆転勝ちしました。

逆境をはねのけ勝ち進んだ準決勝は8月10日、地元イギリスのキャンベル選手と対戦。最終ラウンドには清水選手の強烈なパンチがヒットし、あわや相手がダウンかという状態まで奮闘しましたが、判定負けとなりました。ボクシングは3位決定戦を行わないため、銅メダルとなりました。

日本ボクシング界では44年ぶり、総社市では初のオリンピックのメダルを獲得しました。大会を終えた清水選手は「多くの皆さまが応援してくれたので、ここまで来れたのだと思います。総社の皆さまにはなるべく早く帰郷して、メダル獲得の報告をしたいと思います」とコメントしました。